

スポンサー様

JJSF 全日本選手権 第4戦&第5戦 in 蒲郡



開催日

6月16・17日

開催場所

愛知県 蒲郡市

出場クラス

Pro 級 Ski Open

R/A Open

結果

Ski 第4戦 電気系トラブル

第5戦 決勝進出

6位

R/A 第4戦 グリッド予選 5位

決勝 優勝

第5戦 グリッド予選 1位

決勝 優勝

前回の第2・3戦から1か月、ハイドロのセッティングやドバイから帰国してきたウルトラの調整をして今回の第4・5戦に臨みました。

Pro Ski

第4戦の予選はイン側からのスタートでした。スタートでは出遅れなかったものの7位でホームストレートへ。しかし「これから頑張るぞ!!」という時に第2戦同様、またもや電気系トラブルが起きました。コーナーの立ち上がりで何度も吹け上がらなくなり、しまいにはエンジンがかからなくなってしまいオフィシャルにレスキューされてレースを終えました。非常に残念です。

第5戦ではハーネスを交換し出場しました。前日のトラブルは完全には解消されなかったものの、とりあえず走れる状態に持っていく事ができました。

予選ではアウトの大外で合流では8位でした。その後3周目で7位に上がり、残り2周で6位まで何とか上がる事ができ、決勝進出までのボーダーラインを超える事ができました。

決勝ではアウトの大外からスタートをしました。スタートでは出遅れてしまったもののなんとか巻き返し、アウトの4位で合流を迎え合流後は8位でした。次の週のチョイスで1台抜いて7位へ浮上。その後上位の2台がブラックフラッグを受けた為に、5位まで繰り上がりました。しかしレース中盤に桜井プロと片山プロに抜かれて7位に逆戻りしてしまいました。それでも最終ラップに陽平プロを抜いて6位に上がりゴールとなりました。

Pro R/A

第4戦のグリッド予選はインコースからのスタートでした。右隣には釘崎プロ、左隣には全日本チャンピオンの砂盃プロがいる状況でスタートでした。スタートは上手く決まり誰よりも速く飛び出せたものの自分のラインが甘かったせいか、1ブイ手前で釘崎プロと砂盃プロと接触し痛恨のスピン!!一気に順位が下がり最後尾になってしまいました。しかし每周ごとに順位を上げ、5位まで上がってのフィニッシュとなりました。

決勝ではインの大外からスタートしました。今回もばっちりスタートが決まり、インのホールショットで1ブイを通過。合流でもアウトから来た砂盃プロを抑えてホームストレートへ。その後は砂盃プロを押さえきり、初参戦のプロランナバウトクラスでホールトゥウィンと共にデビューウィン!!という快挙を果たしました。

第5戦のグリッド予選はインコースからのスタートで、一番イン側には竹野下プロの軽量ハル&ツインチャージャーのRXP-Xがいました。スタート後、1ブイに同じタイミングで竹野下プロと進入し、次のブイまで竹野下プロとサイドバイサイドで争いました。その後竹野下プロが落水した為、インの1位で合流へ。アウトの1位よりも早く最終ブイを曲がる事ができ、1位でホームストレートを通過しました。その後は2位以下をどんどん離れていき、1位でゴールとなりました。

決勝ではインのポールポジションからのスタートでした。1ブイではインの大外にいた竹野下プロに被されてしまいインの2位で合流へ。アウトから来た坂崎プロに合流で行かれてしまいホームストレート通過時点では3位でした。しかし、次の週のチョイスを上手く分かれ、合流で坂崎プロを抜いて2位に浮上。その後、1位独走していた竹野下プロにも徐々に追いついていき、これから勝負と言う時に竹野下プロにブラッグフラッグが振られました。その為、レース中盤に危なげなく1位に浮上する事ができました。その後も1位を走り続け、第4戦同様トップフィニッシュで飾る事ができました!!

レースを終えての感想

今回の第4戦はスキークラスの鬱憤をランナバウトクラスで晴らすことができました。また、デビューウィンという快挙は、たくさんの人の注目を集められたのではないかと思います。

第5戦では、調子が悪かったプロスキーで過去最高の6位でゴールする事ができ、ランナバウトではデビューウィンに続き2連勝という快挙を果たしました。

このような素晴らしい結果が出せたのも一重にスポンサーの皆様のお陰です。本当にありがとうございました!! 今週末はフィリピンでのレースを控えているため、今はフィリピンのナショナル選手権に集中しています。その為、現在全日本の船の調整は出来ていませんが、帰国次第の全日本に向けて調整を始めていこうと思います。今後とも応援の程宜しくお願い致します。



Team WPS Japan

小原 聡将